

のぞみ

未来創造課 ☎88-1115

かつやま“のぞみフェスタ”に参加して

理事 竹内 和徳（勝山市教職員組合）

露の新治氏の基調講演「新ちゃんのお笑い人権高座」は、笑いの中にも人権についてしっかりと考えさせられる内容で、職場に帰ったら子どもたちにも伝えたい内容でした。また、ネットワークとして男女共同参画都市宣言文を読み上げたこともよかったと思います。自分の生活を振り返り、男女共同参画や思いやりについて考えるよい機会となりました。



～2010 勝山市男女共同ネットワーク活動を振り返って(活動報告)～ ※敬称略

勝山市男女共同ネットワーク交流会に参加して

理事 小寺 和子（勝山商工会議所女性会）

11月27日（土）に、男女共同参画社会の実現をテーマとして、意見交換を行いました。性別の区別なく、ともに思いやり、助け合う社会づくりを目指して活動してきましたが、まだまだ会員の皆さまに理解されていない部分があります。「会員が参加しやすい時間帯を検討する」「公民館や区を通じて男性会員の加入促進を図る」など、活発な意見が出されました。男女共同参画の発展のためには、幅広い世代に関心を持っていただくことが必要だと思いました。



2010ネットワーク活動を振り返って

勝山市男女共同ネットワーク
会長 鈴木 佐智江（JAテラル越前女性部）

春の長雨、暑い夏、熊騒動といろいろ話題が多かった平成22年が過ぎ、新しい1年が始まりました。おかげさまで、ネットワークの大半の事業を無事終えることができました。これも各団体の理事をはじめ、会員ならびに市民の皆さまのご協力のおかげと深く感謝を申し上げます。

2度の講座、のぞみフェスタ、ネットワーク交流会などで学び学んだことが、ネットワークの更なる力となり、家庭の輪、市民の輪へと広がってほしいと思います。そして、皆さまにとって勝山市がますます「好きなまち」「住みよいまち」となることを願います。

これからも、ネットワークの活動が一人でも多くのかたにご理解いただき、参加していただく活動となりますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。



紅葉講座 ～「笑いの医力」～

理事 本郷 尚美（勝山市消費者団体連絡協議会）

10月21日（木）に、福井社会保険病院の小澤眞二先生の講演「笑いの医力」を聞きました。「笑う」は免疫力を高め、病気の進行さえも調節し、またボケ防止にも一役買っているとのことでした。人差し指と親指を丸めて頬をグリグリ回し、「パッ」と言いながら顔の横で指を思いっきり広げる運動をみんなで体験し、笑顔の輪ができました。

「笑顔」は周りの人を幸せにするとともに、自分の健康管理にも大きく影響していることが分かり、職場においても伝授して笑顔を広めました。



今年の「のぞみフェスタ」には、男性の参加者が増えました。少しずつ、男女共同参画に関心を持ってもらえたのではないかと感じました。

理事 木村 美彌子
（退職公務員連盟勝山支部）

勝山市の推進状況には、とても進んでいる面ともしっかりと頑張りたい面の両方があると思います。今後は、男女共同参画宣言都市として他市町よりもっと前へ進むべく、男女共同参画についての知識を増やし、ネットワークの仲間と一緒に頑張っていきます。

理事 四谷 昌則
（ぶくろんフィア勝山支部）

活動を通じて、男女共同参画の大切な意義を学ぶことができました。幅広く団体個人に加入の呼びかけをして男女共同参画の輪が広がれば、今以上に住みよい社会になるのではないのでしょうか。

理事 佐久間 雪子
（勝山市婦人福祉協議会・勝山市更生保護女性会）

男女共同参画社会という言葉を意識したのは、勝山市男女共同ネットワークに理事として参加してからです。「男女共同参画社会」と聞くと、働く女性の支援と考えるかたもいると思いますが、専業主婦の立場でも必要なことです。家庭でも、互いが助け合い理解して「くらし」で十分に男女共同参画社会が実現できているのではないのでしょうか。

副会長 齋藤 勇
（社）勝山青年会議所



男女共同参画ポスター小中学生入賞作品展

理事から一言

ネットワークに参加して2年目。今年は副会長となり、これまで以上に事業の企画、運営に頑張るつもりです。今年も、とてもよい経験となりました。

副会長 齋藤 美穂子
（勝山市交通安全母の会）

ネットワーク講座に参加し、男女がお互いに認め合い、支え合うことが男女共同参画の始まりではないかと感じました。

理事 橋本 勢津子
（勝山地域ファミリーサービスクラブ）



勝山市男女共同参画社会のうた
「～男と女が手をつなごう～」 斉唱

ネットワーク活動に参加し始めた頃は、何が何だかさっぱりわかりませんでした。ようやく分かるようになり、昭和初期生まれの者には、なかなか男女共同参画は馴染みにくいのですが、若い方がたと仲良くやっていくために、しっかりと勉強していきたいと思えます。

理事 杉山 愛子
（勝山市食生活改善推進員連絡協議会）

女性にとって、大きな課題が山積している今日、これまでの考え方にとらわれず、気づいたところから少しずつ意識を変え行動している大勢の仲間に出会い、活動し、学べたことに感謝します。

理事 小寺 恵美子
（勝山農村女性の共同参画を進める会）

ネットワーク活動に携わってから、男女共同参画が身近なものになりました。これからも、理事が一体となって、男女共同参画の輪を広げていきたいと思えます。

理事 平泉 寿亨
（勝山市職員組合）

男女共同参画のポスターを審査した折、久しぶりに小中学生の自由で希望溢れる作品を見ることができました。男女共同参画社会の未来は明るい！頼もしい彼らがいる！と思いました。

理事 笠川 みどり
（勝山市赤十字奉仕団）

